



13歳からの作文・小論文ノート
小野田博一：著
「文章は自由に書け」は間違い。読み手に伝わるように作文・小論文を書くにはルールとテクニックがあります。作文を組み立てるポイント、文章の形式とコツなど、読み手を納得させる文章の書き方を伝授します。

茶谷清志講演会を 開催します



ドラマでも話題の坂本龍馬を題材とした講演会を瀬戸内市文化祭（邑久会場）で開催します。

と題して、起業コンサルタントの茶谷清志氏（龍馬に学ぶ行動力研究所代表、右写真）に語ってもらいます。

時制高校から法政大学文学部史学科に進学。起業後は、さまざまなビジネスに挑戦し、超効率経営で年収1億円を達成しました。

出前講座の講師を募集します

現在、公民館では、市役所・瀬戸内警察署の職員、公民館講座の皆さんを講師として、出前講座を行っています。

坂本龍馬ってどんな人？

坂本龍馬（1835～1867）は、土佐（現在の高知県）生まれ、江戸で剣術や砲術の修業後、帰国して土佐勤王党に加盟しました。土佐藩を脱藩後は、幕臣・勝海舟の門人となり、日本初の商社といわれる亀山社中（後の海援隊）を長崎に設立。

その後、薩長連合を成立させ、大政奉還を実現しました。



坂本龍馬

新国家構想の実現に尽力中、京都の近江屋で中岡慎太郎とともに暗殺されました。享年33歳でした。

講演会を通して「龍馬の如く自分らしく自由に生きる」ことを知り、あなたの中に眠っている龍馬が目覚めるかもしれません。

自薦、他薦は問いません。地域で活躍している団体や、郷土の歴史に詳しい人など、知識や経験、特技を生かしてみませんか。なお、他薦の場合はご本人の了承をお願いします。

Books



脱サラ農業で年商 110 億円！

鈴木誠…著

ゼロから起業し、6年で年商110億円を達成した元銀行マンが明かす「儲かる農業」の仕組みとは？ 各国が輸出規制を強め、日本の「食」が危機を迎える中、日本の農業を元気にするという夢に挑戦する男の骨太な生き様を紹介した一冊です。

今月の月末図書整理日（お休み）は、
10月29日（金）です。
■貸し出し・問い合わせ先
瀬戸内市立図書館 ☎0869-22-3761
長船町公民館図書室 ☎0869-26-2501
牛窓町公民館図書室 ☎0869-34-5663
HP <http://lib.city.setouchi.lg.jp/>



巻の六十九

特別展 第五回お守り刀展覧会

現代の名工たち

今年も現代刀匠の新作を展示する「お守り刀展覧会」の季節がやってきました。5回目を節目の記念展となる今回、刀身の部35口、外装の部16点、主催者・審査員出品6点の作品が集まりました。

8月9日、10日の2日間かけて行われた事前の審査会では、総合の部、刀身の部、外装の部においてそれぞれ入賞作が決定しました。

中でも外装の部の第一席に輝いた「濃茶漆塗七五三刻鞘出鮫合口拵」は、鞘の下地は石崎三郎氏（倉敷市）、鞘



外装の部第一席「濃茶漆塗七五三刻鞘出鮫合口拵」

の漆塗りは、岸野輝仁氏（瀬戸内市）による作品で、両者とも刀剣の里刀剣工房にて実演している職方です。

評価を受けました。時間をかけて乾かす漆芸において、7本・5本・3本と刻みが入られた本作のように、細かな凹凸をくつきりと見せるのは、技と根気だけでなく、わずかな歪みを見落とさない眼が必要となります。

古刀の名品を展示
本展覧会では、現代の名工の作だけではなく、古作の名品も展示します。

9月29日（水）から10月24日（日）の前期展では、古刀の名品を展示します。

- ・国宝 刀 中務正宗（文化庁蔵）
- ・重要文化財 短刀 行光（日光東照宮蔵）
- ・重要文化財 太刀 包永（四條畷神社蔵）
- ・重要文化財 太刀 遠近

- （日光二荒山神社蔵）
- ・重要美術品 脇指 康継（個人蔵・大阪歴史博物館蔵）
- こうした相州伝、大和伝、備前伝のほか、山城伝の国行の太刀、美濃伝の兼定の刀など「五ヶ伝」と呼ばれる作風の刀剣が勢揃いします。
- また、10月26日（火）から11月23日（火）の後期展では備前刀の名品を時代ごとに展示します。
- ・国宝 太刀 友成（厳島神社蔵）
- ・重要文化財 太刀 景光（文化庁蔵）
- ・重要文化財 太刀 康光（日光二荒山神社蔵）
- ・重要文化財 脇指 勝光・宗光（日光東照宮蔵）
- ・重要美術品 刀 長光（個人蔵）

このほかにも南北朝時代に作られた雲次の刀（西郷家伝来）、室町中期に作られた賀光の刀（蓮如上人の愛刀）なども里帰りします。古今の名品を同時に観賞できる貴重な機会にぜひごらんください。

もっと刀剣を身近に

10月30日から11月7日までの9日間、岡山県内の全市町村で第25回国民文化祭が開催されます。

瀬戸内市では日本刀の一大産地として栄えた長船にて10月30日（土）と31日（日）に「備前おさふね名刀フェスティバル」を開催します。

刀剣博物館もこの2日間は入館料が無料となり、博物館ボランティアによる展示案内・解説を受けることもできます。

ボランティアの皆さんは、月1度の講習を受け、日本刀の素晴らしさや製作上の大変さについて勉強してきました。展示品についてだけでなく、製作工程に関する説明など、訪れる皆さんに刀剣の魅力が伝わるよう一生懸命ガイドを行います。